

歩行倫理学

への招待

菊地道夫

「足」と「歩行」に関しての

様々な視点からのアプローチにより
明るみに出た多くの知見を

総合的に解釈したユニーク哲学書

現代日本人の健康問題で欠かせないウォーキングと
足の話題。二足歩行の人類にとつて重要な「足」を、
哲學的な見地から多角的に捉える歩行思想書。

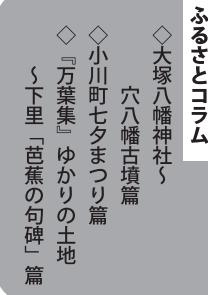
ウォーキングやトレッキング前のちよつとした時間
に読むと、その歩行がより充実すること間違いなし。
思想的な話題以外にも、小川町在住の著者が小川町
逍遙で見識した小川スポットもコラムで紹介する。

第一部 足の健康について

- 第1章 「歩く」と「走る」
- 第2章 足ツボについて
- 第3章 前へ進め!
- 第4章 ウォーキングの意味
- 第5章 スポーツと二足歩行
- 第6章 「歩く」という物理学
- 第7章 歩行と認知症
- 第8章 「幸福」と「健康」
- 第9章 競歩の謎

第二部 足の美について

- 第10章 美しく歩く
- 第11章 フェティシズムとエロティシズム
- 第12章 絵画に描かれた「足」
- 第13章 「足」に描く絵画
- 第14章 靴の哲学
- 第15章 能の「すり足」について
- 第16章 言語とは何か
- 第17章 言葉とは概念である
- 第18章 博物学で「歩く」
- 第19章 規範学で「歩く」
- 第20章 歩行倫理学



地元小川町の
自然豊かな風情を
哲学散歩する
ふるさとコラム付

ふるさとコラム

- ◇大塚八幡神社／穴八幡古墳篇
- ◇小川町七夕まつり篇
- ◇『万葉集』ゆかりの土地
- ♪下里「芭蕉の句碑」篇

定価(本体 800円+税)
新書判・並製本・108頁
ISBN 978-4-89623-129-8

哲学書

1980年、埼玉県に生まれる。詩人、エッセイスト。
2018年、東京大学大学院数理科学研究科博士課程修了。

主な詩集に『時空と生成』『隠れ躊躇の場所』
『愛すべき風景』『綴る恋』『寿』『知るということ』『菊地道夫詩集 100のボエジー』
(2020年刊行予定)、主なエッセイ集に『規範学』『自分教』『主観論』『有名になりたくない症候群』『詩の遍歴』あるひとつの「形」などがある。

申込書

歩行倫理学

への招待

菊地道夫著
(本体 800円 +税)
ISBN 978-4-89623-129-8

注文数	冊
お名前	
電話番号	
書店名	